

2022年度第3四半期 業績の概要

2023年2月15日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況


2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ


保険料等収入

 4兆6,110億円

〔対21年4-12月 +14.6% / 対19年4-12月 +7.8%〕

- グループ各社の外貨建商品の販売増を主因に増収


基礎利益

 2,943億円

〔対21年4-12月 ▲48.1% / 対19年4-12月 ▲16.6%〕

- 新型コロナウイルス感染症関連の支払増、ヘッジコストの増加、およびニッセイ・ウェルス生命の標準責任準備金の繰入増により減益

新契約年換算保険料

 2,890億円

〔対21年4-12月 +3.8% / 対19年4-12月 ▲7.0%〕

- 日本生命は貯蓄性商品の料率改定等により減少も、ニッセイ・ウェルス生命および大樹生命の外貨建商品の販売増により、対21年4-12月で増加

保有年換算保険料

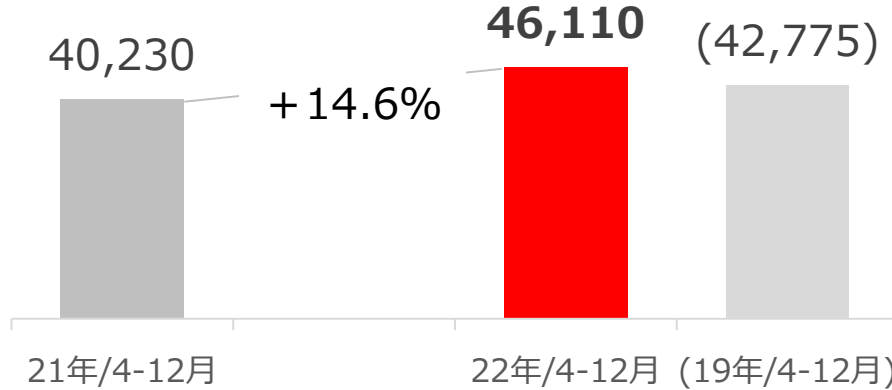
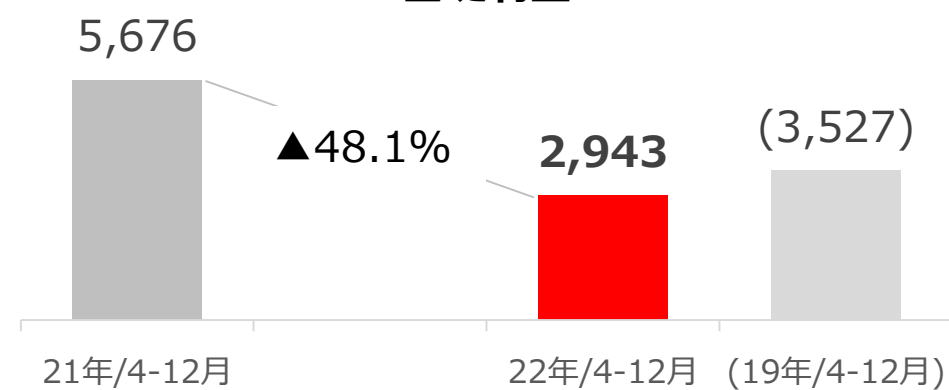
 4兆5,752億円

〔対22年3月末 +0.1%〕

- 日本生命は減少も、ニッセイ・ウェルス生命の増加を主因に対22年3月末横ばい

個人保険・個人年金保険
国内生命保険

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入 (単位：億円)

基礎利益 (単位：億円)


	2022年 4-12月 実績	対21年 4-12月 増減	対19年 4-12月 増減	2021年 4-12月 実績	2019年 4-12月 実績
保険料等収入	46,110	+14.6%	+7.8%	40,230	42,775
日本生命	33,276	+4.3%	▲1.3%	31,912	33,703
大樹生命	6,752	+73.1%	+34.4%	3,901	5,023
ニッセイ・ウェルス生命	4,099	+50.7%	+70.7%	2,720	2,402
はなさく生命	157	+65.9%	+2,307.0%	95	6
MLC	1,537	+14.4%	+14.5%	1,343	1,342

	2022年 4-12月 実績	対21年 4-12月 増減	対19年 4-12月 増減	2021年 4-12月 実績	2019年 4-12月 実績
基礎利益	2,943	▲48.1%	▲16.6%	5,676	3,527
利差益	1,850	▲9.9%	*	2,052	▲16
保険関係損益	1,026	▲70.7%	▲70.5%	3,504	3,478
日本生命	3,239	▲37.3%	+1.2%	5,167	3,200
大樹生命	107	▲60.7%	▲36.5%	273	168
ニッセイ・ウェルス生命	▲293	*	*	249	150
はなさく生命	▲176	▲32.5%	▲208.5%	▲132	▲57
MLC	19	+1,157.6%	*	1	▲28

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

※ はなさく生命の2019年実績は事業開始日（6月24日）以降

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引の調整等を行い算出

※ 利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

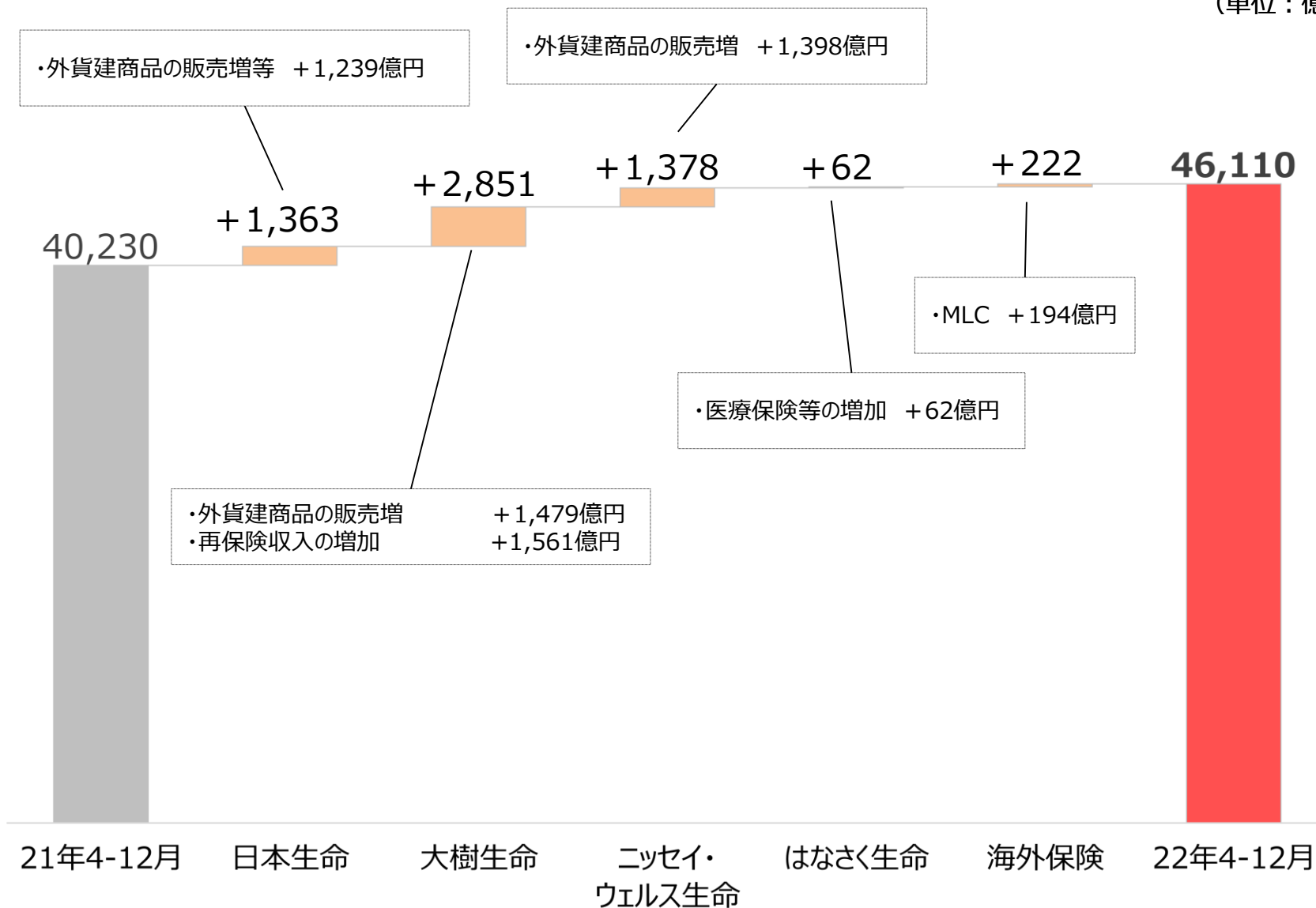
※ 2022年度より適用された基礎利益の計算方法に基づいて算出

※ 子会社の数値は、対象年度当時の持分比率に基づいて算出

* 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可

③ 保険料等収入

(単位：億円)

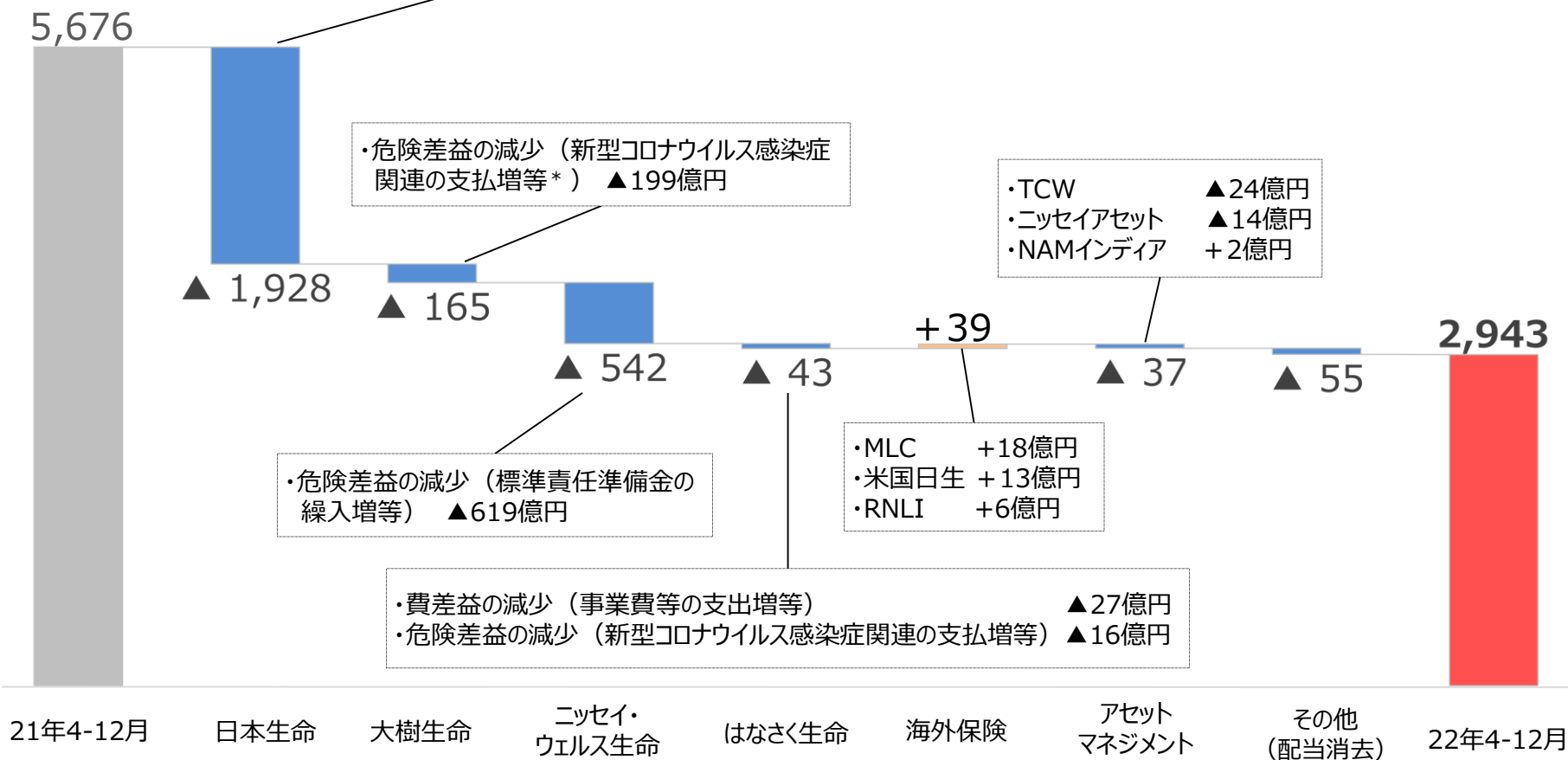


※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

④ 基礎利益

・危険差益の減少（新型コロナウイルス感染症関連の支払増等*） ▲1,749億円
 ・利差益の減少（ヘッジコストの増加等） ▲240億円

(単位：億円)



※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引の調整等を行い算出

※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント、RNLI：リライアンス・ニッポンライフ・インシュアランス、NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント

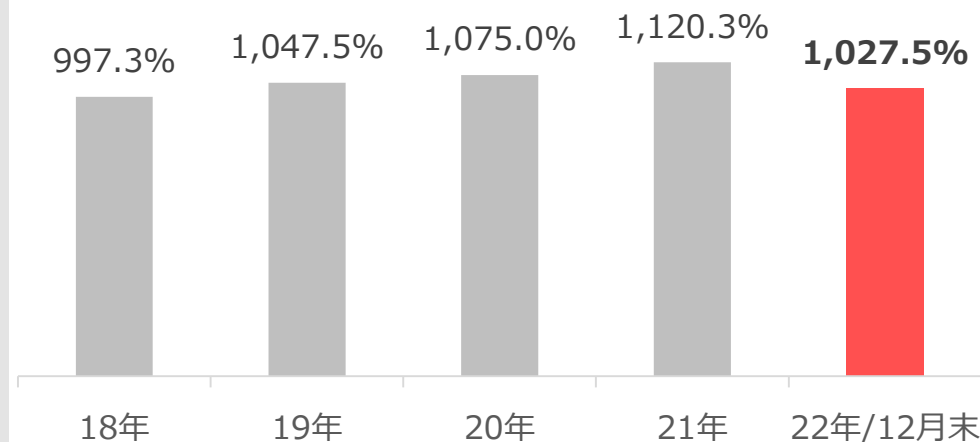
※ 2022年度より適用された基礎利益の計算方法に基づいて算出

* 未処理の給付金請求に係る支払備金を含む

⑤ 健全性

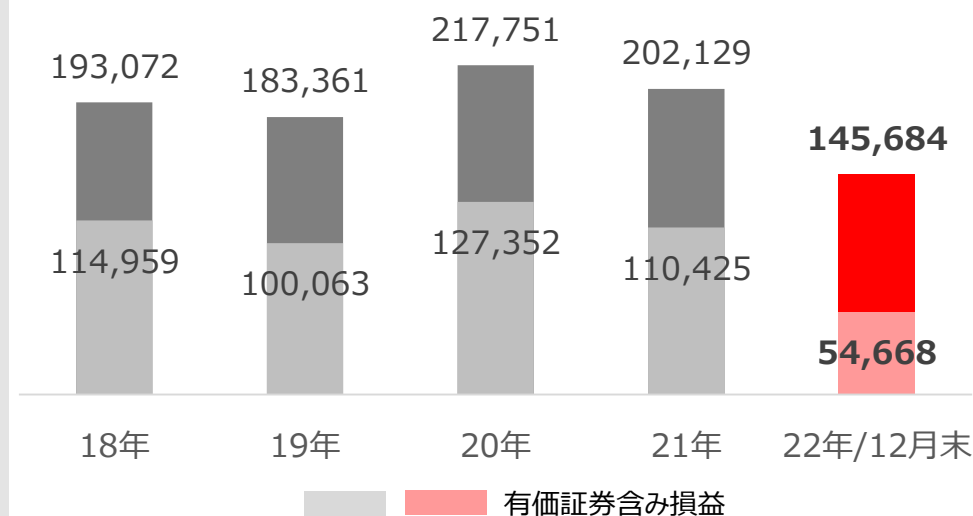
- ソルベンシー・マージン比率は、
 その他有価証券の含み益の減少に伴い、
 対21年度末で低下。
- 実質純資産は、
 有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で減少。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益・四半期純剰余は、対21年4-12月で減少。

(単位：億円)

	2022年 4-12月	対21年 4-12月
経常収益	70,422	+17.0%
保険料等収入	46,110	+14.6%
資産運用収益	22,558	+24.7%
経常費用	69,925	+28.7%
保険金等支払金	40,099	+18.7%
資産運用費用	11,162	+452.5%
事業費	6,072	+1.8%
経常利益	496	▲91.5%
(基礎利益)	2,943	▲48.1%
特別損益	▲30	+98.3%
四半期純剰余(利益)	513	▲83.6%

貸借対照表

- 総資産・負債・純資産は、対22年3月末で減少。

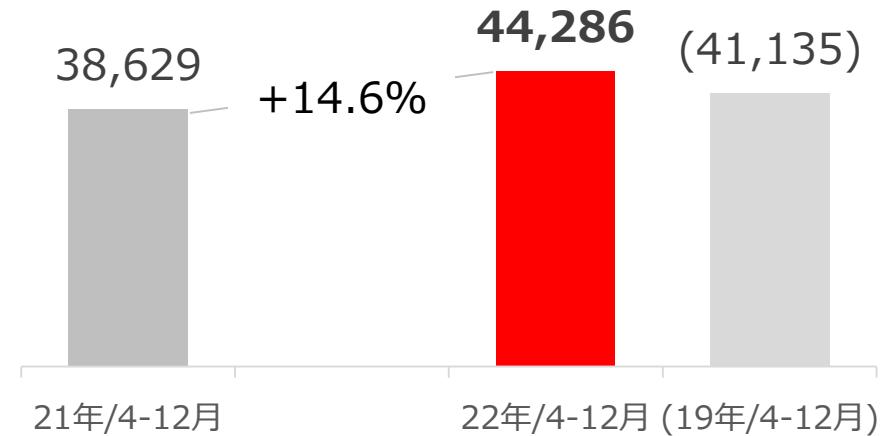
(単位：億円)

	2022年 12月末	対22年 3月末
総資産	857,879	▲2.9%
うち有価証券	701,987	▲4.3%
うち貸付金	86,128	+2.1%
うち有形固定資産	18,598	▲0.8%
負債	798,228	▲0.6%
うち保険契約準備金	710,110	+1.6%
うち責任準備金	695,405	+1.4%
うち価格変動準備金	16,769	▲0.5%
純資産	59,650	▲25.9%

① 保険料等収入

- 対21年4-12月では、銀行窓販チャネルおよび代理店チャネルにおける外貨建商品の販売増等により増収。
- 対19年4-12月では、銀行窓販チャネル、代理店チャネルの販売増等により増収。

保険料等収入（国内計）（単位：億円）



	2022年 4-12月	対21年 4-12月	対19年 4-12月
保険料等収入（国内計）	44,286	+14.6%	+7.7%
うち個人保険・個人年金保険	31,525	+15.4%	+7.9%
営業職員チャネル	20,782	+2.9%	+0.5%
代理店チャネル	3,962	+31.3%	+23.8%
銀行窓販チャネル	6,780	+65.2%	+27.1%
うち団体保険	2,089	▲0.4%	+3.8%
うち団体年金保険	8,299	▲1.0%	▲3.4%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は、対21年4-12月で増加も、対19年4-12月では減少。
- 件数・保障額等は、対21年4-12月・対19年4-12月ともに減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2022年 4-12月	対21年 4-12月	対19年 4-12月	2022年 4-12月	対21年 4-12月	対19年 4-12月	2022年 4-12月	対21年 4-12月	対19年 4-12月
国内計	2,890	+3.8%	▲7.0%	350	▲3.0%	▲12.3%	59,616	▲16.7%	▲15.0%
営業職員チャンネル	1,245	▲18.2%	▲20.0%	321	▲5.9%	▲15.6%	36,906	▲30.4%	▲38.0%
代理店チャンネル	541	+24.1%	+96.8%	18	+24.3%	+84.5%	14,594	+3.0%	+212.2%
銀行窓販チャンネル	1,099	+33.2%	▲13.9%	9	+107.0%	+14.4%	7,992	+84.0%	+34.4%
日本生命	1,651	▲10.6%	▲10.4%	322	▲4.9%	▲15.1%	41,380	▲28.6%	▲33.0%
大樹生命	267	+45.6%	+4.1%	10	+4.2%	▲26.5%	5,896	+18.0%	▲5.4%
ニッセイ・ウェルス生命	895	+29.0%	▲9.4%	5	+100.1%	+166.3%	5,584	+97.2%	+157.5%
はなさく生命	76	+27.5%	+271.4%	12	+28.8%	+250.5%	6,754	+18.0%	-

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料は横ばい、件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険は減少、団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

年換算保険料

件数

保障額等

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2022年 12月末	対22年 3月末	2022年 12月末	対22年 3月末	2022年 12月末	対22年 3月末
国内計	45,752	+0.1%	3,831	+1.0%	1,723,238	▲1.5%
日本生命	37,384	▲0.8%	3,499	+0.8%	1,503,374	▲2.0%
大樹生命	5,069	▲1.0%	256	▲1.3%	167,170	▲3.4%
ニッセイ・ウェルス生命	3,079	+13.2%	40	+11.6%	38,178	+12.0%
はなさく生命	219	+40.8%	35	+41.9%	14,515	+73.3%

団体保険・団体年金保険

団体保険
(保障額等)団体年金保険
(受託資産等)

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2022年 12月末	対22年 3月末	2022年 12月末	対22年 3月末
国内計	1,090,487	▲0.7%	185,883	+0.5%
日本生命	979,956	▲0.3%	140,919	+1.4%
大樹生命	110,531	▲4.5%	7,261	▲7.0%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（30,436億円）、確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分7,253億円）を含む

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2022年 4-12月
死亡保険金		2,191件 181.7億円
	災害保険金	357件 23.1億円

■ 給付金のお支払い

		2022年 4-12月
入院給付金		1,174,738件 1,646.9億円
	みなし入院	1,131,307件 1,572.5億円

【参考】2021年度の新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金について

■ 保険金のお支払い

	2021年度	
		4-12月
死亡保険金	1,929件 163.6億円	1,460件 127.3億円
	災害保険金	298件 17.8億円
		232件 14.9億円

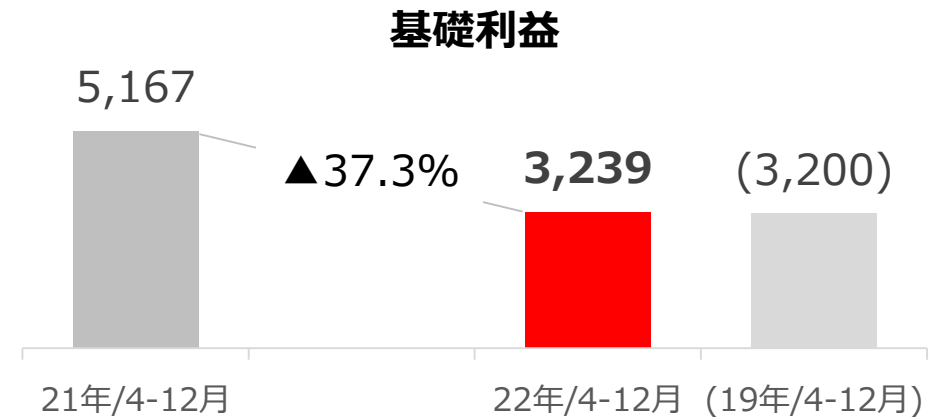
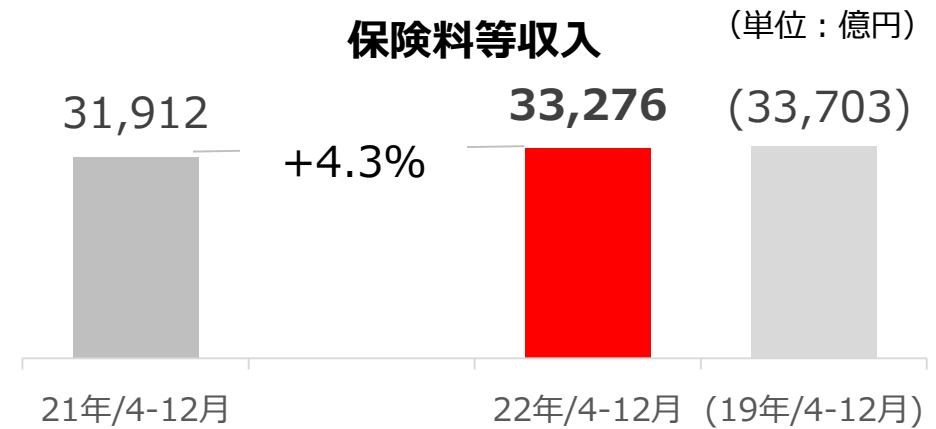
■ 給付金のお支払い

	2021年度	
		4-12月
入院給付金	151,614件 226.8億円	70,823件 105.0億円
	みなし入院	133,496件 198.7億円
		57,985件 85.0億円

【参考】
グループ各社の概況

【参考】 日本生命（単体）：収支

- 対21年4-12月で増収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の上昇に伴う外貨建商品の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の大幅減少、およびヘッジコスト増加による利差益の減少を主因に減益。



	2022年 4-12月	対21年 4-12月	対19年 4-12月
基礎利益	3,239	▲37.3%	+1.2%
利差益	1,725	▲12.2%	+1,776.6%
費差益	341	+22.0%	+52.0%
危険差益	1,171	▲59.9%	▲59.4%

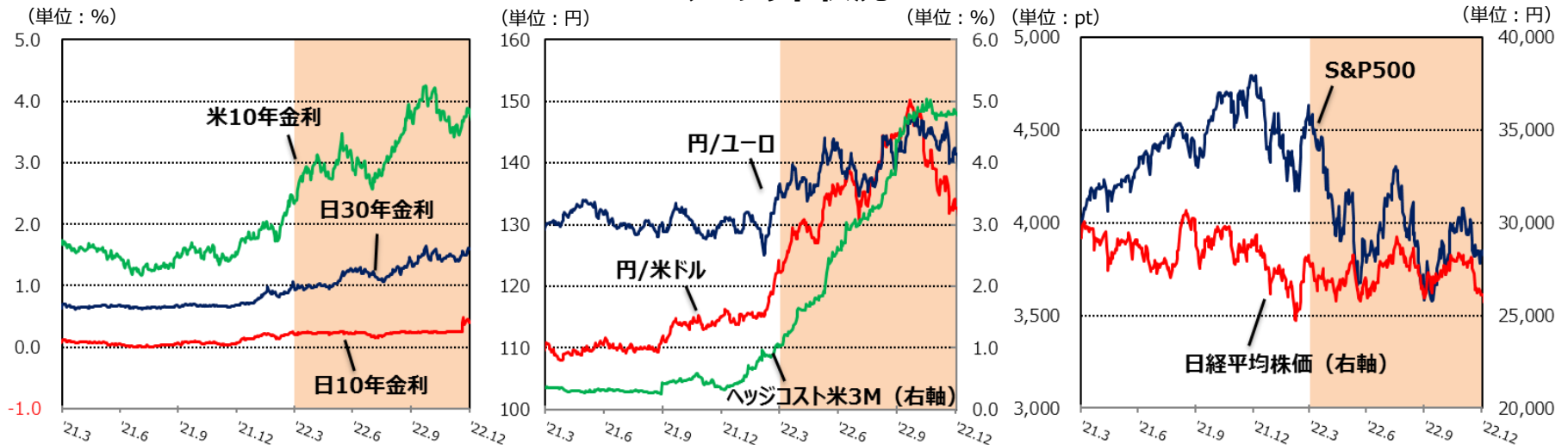
【参考】 日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、対21年4-12月で減少。
- 資産運用収益は、利息及び配当金等収入の増加や、有価証券売却益の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加を主因に増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

	2022年 4-12月	対21年 4-12月
資産運用収益	19,521	+4,202
うち利息及び配当金等収入	13,088	+2,128
うち有価証券売却益	5,989	+1,898
うち為替差益	152	▲26
資産運用費用	8,786	+7,095
うち有価証券売却損	6,616	+6,004
うち有価証券評価損	164	+94
うち金融派生商品費用	1,025	+895
資産運用収支	10,735	▲2,892

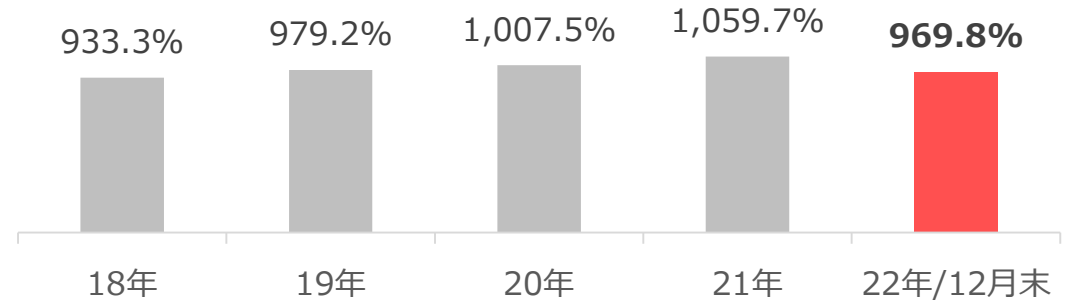
マーケット状況



【参考】 日本生命（単体）：健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、
 その他有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で低下。
- 有価証券の含み益は、内外金利上昇や
 株価下落により、対21年度末で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本



有価証券 含み損益 (単位：億円)

	2022年 12月末	対22年 3月末
有価証券	58,634	▲ 48,154
公社債	▲ 4,174	▲ 25,525
国内株式	51,690	▲ 4,560
外国証券	13,029	▲ 15,093
その他	▲ 1,909	▲ 2,974

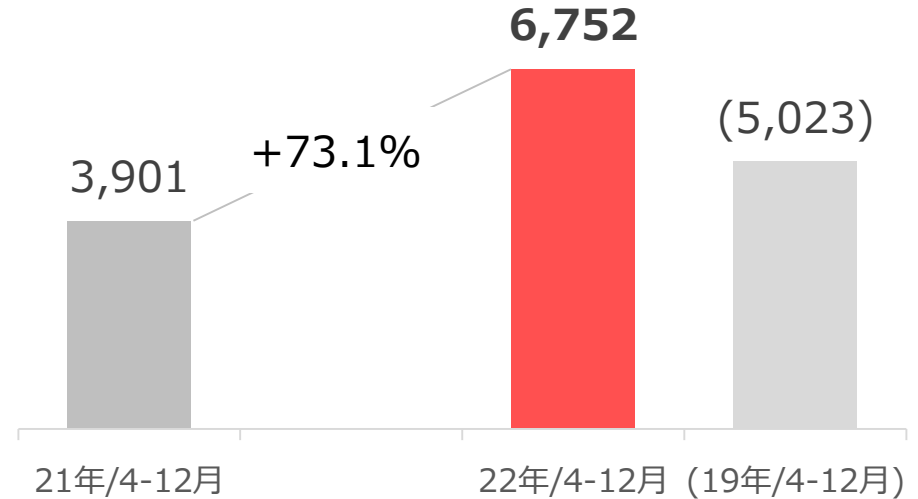
※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

【参考】 大樹生命

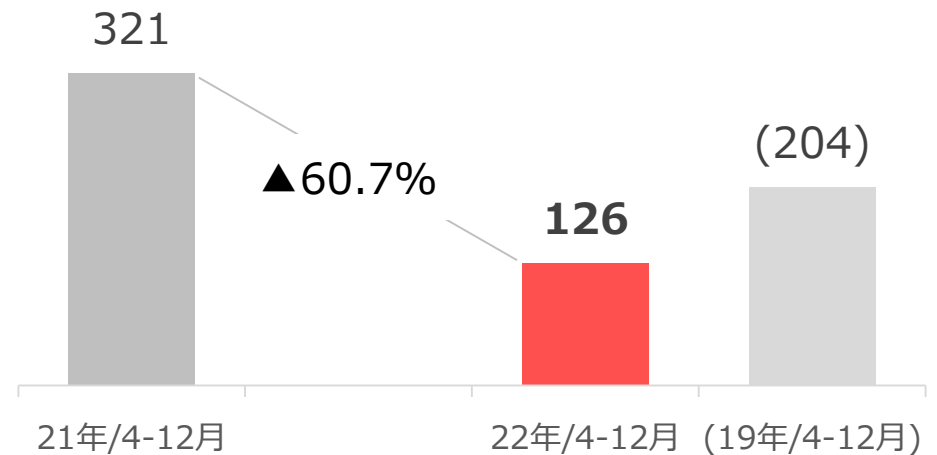
- 対21年4-12月で増収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建商品の販売増や再保険収入の増加により増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の減少により減益。

保険料等収入

(単位：億円)



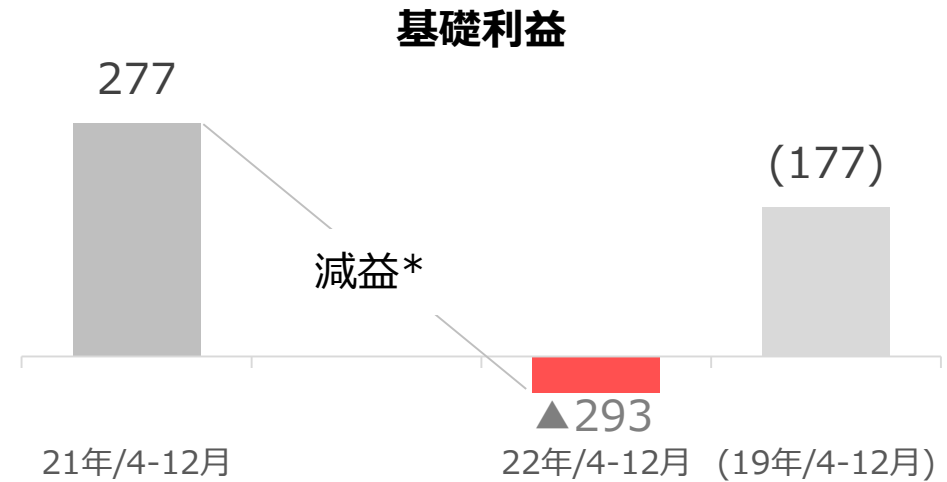
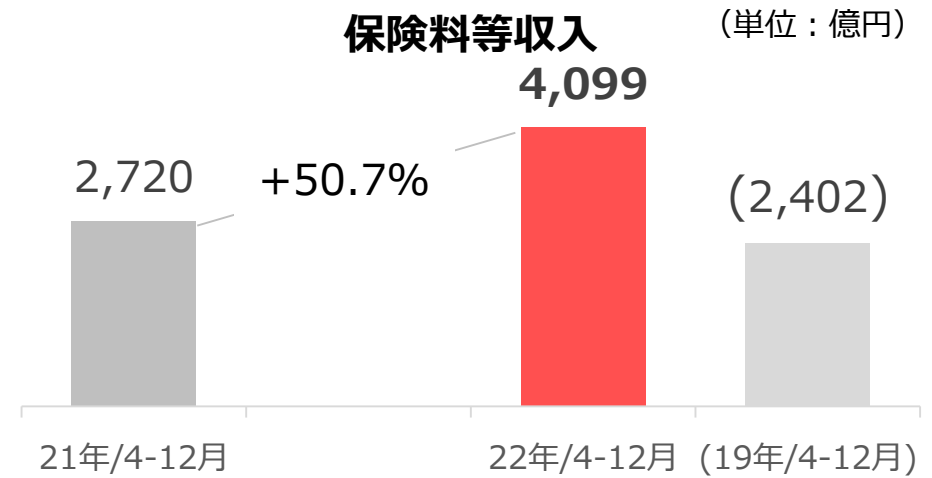
基礎利益



※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

- 対21年4-12月で増収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建商品等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、標準責任準備金の繰入増による危険差益の減少により減益。



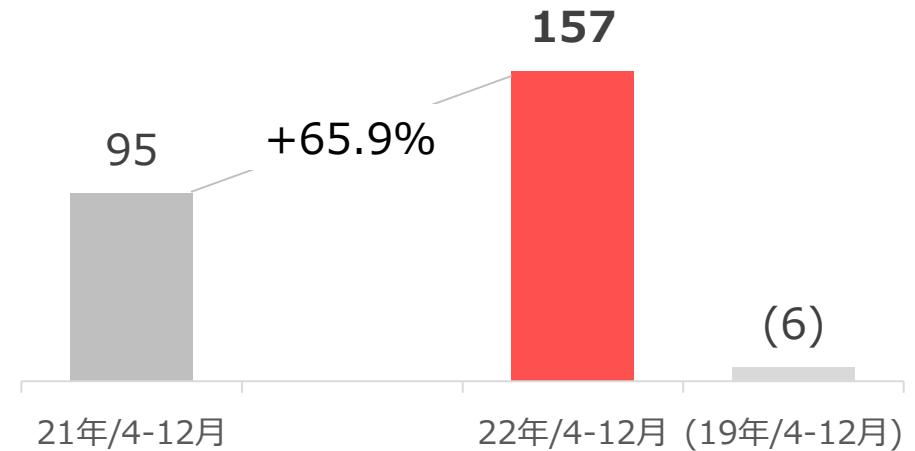
※ 単体の数値を記載

* 前年度数値がプラス、当年度数値がマイナスにより、減少率算出不可

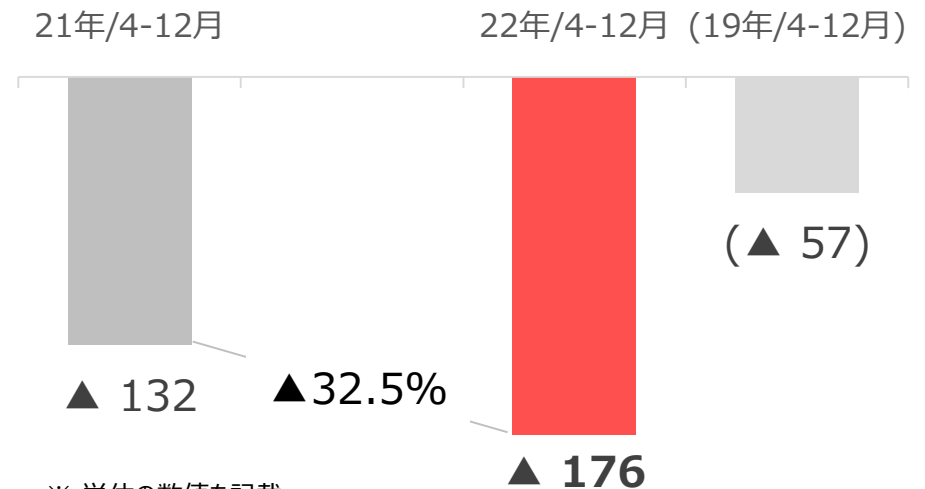
【参考】 はなさく生命

- 対21年4-12月で増収・減益。
- 保険料等収入は、医療保険等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

保険料等収入 (単位：億円)



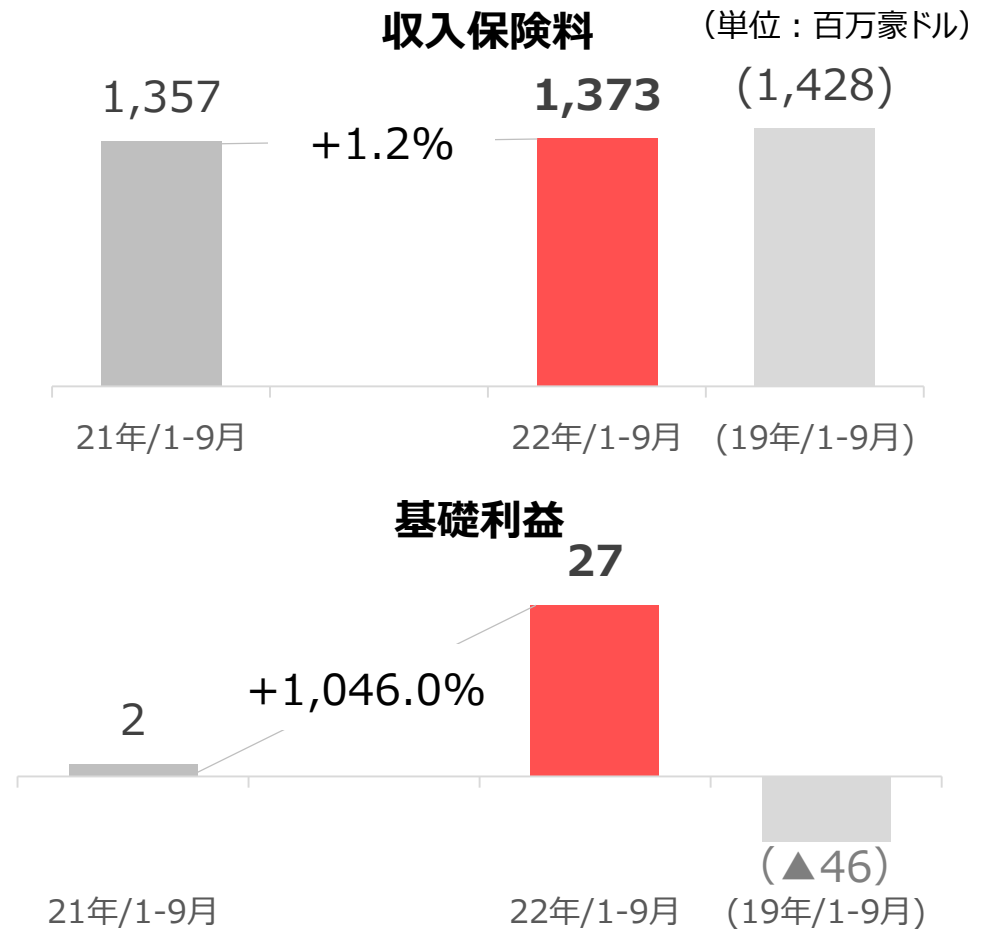
基礎利益



※ 単体の数値を記載

【参考】 MLC

- 対21年1-9月で増収・増益。
- 収入保険料は、個人保険領域および団体保険領域の増加を主因に増収。
- 基礎利益は、個人保険領域および団体保険領域の収支改善を主因に増益。



※ 単体の数値を記載

※ 第3四半期決算では1-9月期を連結反映